令和8年度 学習指導計画

中28 練馬区立大泉西中学校

技術・家庭（技術分野／第１学年）

【教科目標】

＜材料と加工の技術＞
　ものづくりの実習を通して、ものづくりの基礎的な知識と技術を習得し、それらを生活に活用する態度を育てる。
＜生物育成の技術＞
　生物育成の技術の基礎的な知識と技術を習得し、それらを生活に活用する力と態度を育てる。
＜情報の技術＞
　コンピュータやネットワークを構成する要素の種類や役割を理解し、それを用いてデジタル作品が制作できる力を育てる。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 （題材、教材）	時数	主な達成目標 （各単元でつけてほしい力）	評価方法	評価場面
4	材料と加工の技術・生物育成の技術・情報の技術	ガイダンス	1	・小学校からの学習のつながり、技術のすばらしさについて知る。	授業中の観察 ワークシート	授業 教科書の活用
5		木材・金属・プラスチックの性質	2	・木材・金属・プラスチックそれぞれの材料の性質について理解する。	授業中の観察 ワークシート 振り返り 定期考査	授業・発表 提出物 定期考査
6		ラディッシュ栽培	1	・植物の生産に必要な知識を理解する。	ワークシート	授業 提出物 定期考査
7 9		製図	2	・等角図や第三角法を使って、立体の表し方を理解させる。また、特徴や活用方法について理解する。 ・	授業中の観察 レポート 定期考査	授業 定期考査
10 11		木製品の製作 けがき作業 切断作業 穴あけ作業 仮組立作業 仕上げ作業 製図	16	・設計図を見て、どのような加工をするか、 ・製図を通して理解する。 ・各作業で道具の正しい使い方を理解する。 ・安全にけががないように指導する。	授業中の観察 実習記録表 定期考査 課題レポート 振り返り	授業 班活動 作業の様子 実習の準備、片付け 定期考査
		生活や社会を支える生物育成の技術	3	・教科書やプリントを中心として、生物育成の技術と生	授業中の観察	授業 定期考査

令和8年度 学習指導計画

中28 練馬区立大泉西中学校

月	単元	小単元・項目 （題材、教材）	時数	主な達成目標 （各単元でつけてほしい力）	評価方法	評価場面
12 1 2				活との関わりを理解する	ワークシート 定期考査 振り返り	
3		コンピュータの基本的な構成やしくみなど	2	・コンピュータを見て各部の名称、働き、装置の役割について理解する。 ・コンピュータの基本操作を理解する。	授業中の観察 ワークシート 定期考査 課題レポート 振り返り	授業 提出物 定期考査
		ワードプロセッサの使い方 インターネットの使い方	7	・ワードプロセッサの使い方について理解する。 ・インターネットの使い方について理解する。	授業中の観察 ワークシート 定期考査 課題レポート 振り返り	授業 発表 定期考査
		図形処理	2	・ペイントを使い、図形処理の方法を理解する。	授業中の観察 課題レポート 振り返り	授業 教科書の活用
合計時数【35】 ※　生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	作品、提出物の内容、定期考査
思考・判断・表現	作品、提出物の内容、定期考査
主体的に学習に取り組む態度	作品、提出物の内容、授業に対する取組、振返り

令和8年度 学習指導計画

中28 練馬区立大泉西中学校

技術・家庭（家庭分野／第１学年）

【教科目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

【学習計画】

時期	題材	単元	時数	主な達成目標（各題材で身に着けてほしい力）	評価方法	評価場面
１学期（４～７）		◎オリエンテーション	１	・小学校家庭科での学びを踏まえ、中学校３年間の家庭科での学びの見通しをもつ。	・ワークシート	授業 提出物
	衣食住の生活（食生活）	◎食事の役割について理解しよう	３	・健康な生活における食事の役割を理解する。 ・規則正しい食習慣の重要性について理解を深める。 ・自身の食生活を振り返り、今後の見通しを立てる。	・授業中の観察 ・ワークシート ・定期考査	授業 定期考査 提出物 調理実習
		◎中学生に必要な栄養素について理解しよう	５	・中学生に必要な５大栄養素とその特徴について理解する。 ・水及び食物繊維の特徴と働きについて理解する。 ・６つの基礎食品群について理解し、生活の中で活用できるようにする。	・授業中の観察 ・ワークシート ・定期考査	
		◎日常食の調理をしよう①	３	・安全かつ衛生的に調理室や調理器具の使い方を理解する。 ・基本的な調理方法（手順、切り方）について理解する。 ＊肉じゃが ・安全と衛生に留意して食品及び器具の管理をする。 ・包丁を使った様々な切り方が実践できる ・加熱調理「煮る」の仕方について理解し、実践する。	・授業中の観察 ・ワークシート ・振り返りレポート ・定期考査	
		◎適切な食品の選択について考えよう	７	・生鮮食品及び加工食品の特徴を理解する。 ・生鮮食品及び加工食品の表示についての理解を深め、活用できるようにする。 ・加工食品について、食品添加物や食物アレルギーへの理解を深め、適切な食品の選択に生かす。	・授業中の観察 ・ワークシート ・定期考査 ・ワークシート ・レポート	授業 定期考査 提出物

令和8年度 学習指導計画

中28 練馬区立大泉西中学校

時期	題材	単元	時数	主な達成目標 （各題材で身に着けてほしい力）	評価方法	評価場面
2学期（9～12）		◎食品の調理性について理解を深めよう	4	・野菜のおいしい食べ方について、実践的に理解する。 ・肉類のおいしい食べ方について、実践的に理解する。 ・魚類のおいしい食べ方について、実践的に理解する。	・授業中の様子 ・定期考査	
		◎日本の食文化について理解を深めよう	1	・和食の特徴に触れ、食文化の大切さに対する理解を深める。	・授業中の観察 ・ワークシート	
		◎日常食の調理をしよう②	3	・基本的な調理方法（手順、切り方）について理解する。 ＊おせち、紅白なます ・日本の伝統的な食文化に関する調理を実践し、理解を深める。	・授業中の観察 ・ワークシート ・振り返りレポート	授業 定期考査 提出物 調理実習
3学期		◎持続可能な食生活について考えよう	1	・食品ロスについて理解し、削減に向けた生活の工夫について考えを深める。	・ワークシート ・レポート	
		◎日常食の調理をしよう③	3	・基本的な調理方法について理解する。 ・時間を意識した効率的な調理に向けて、計画を立てる。 ＊ハンバーグ、にんじんしりしり、ポテト ・加熱調理「焼く」「蒸す」の仕方について理解し、実践する。	・授業中の観察 ・ワークシート ・振り返りレポート	
		◎1日分の献立を立てよう	4	・1年間の食領域の学びを踏まえ、1日分の献立を作成する。	・授業中の観察 ・ワークシート	
		合計時数	35			

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価の内容（評価方法）
知識・技能	・題材や授業のめあてに応じて、正しい知識や技術を習得・活用できている （定期考査、実習での作業の様子、作品の完成度） ・安全で丁寧に作業をし、作品や課題の完成に向けて、自分の考えを実現する

	ことができている（作品の完成度、ワークシート記入状況）
思考力・判断力・表現力	・提出物（作品やレポート、ワークシートなど）に創意工夫ができている ・授業内での学びを自分の生活に当てはめて考え、自ら生活をよりよくしようとする工夫ができている（ワークシート、発言、発表） ・調理実習において作業を効率よく進めていく工夫ができている
主体的に学習に取り組む態度	・授業での活動や実習に主体的・意欲的に取り組むことができている（発言、発表、実習への取り組み） ・提出物を確実に提出することができている（ワークシート記入状況）

令和8年度 学習指導計画

中28 練馬区立大泉西中学校

技術・家庭（技術分野／第２学年）

【教科目標】

＜生物育成の技術＞
　生物育成の技術の基礎的な知識と技術を習得し、それらを生活に活用する力と態度を育てる。
＜エネルギー変換の技術＞
　自然エネルギーの利用と変換のしくみを理解し、それに関わる製品の製作をとおして、エネルギーの有効利用する力と態度を育てる。
＜情報の技術＞
　コンピュータやネットワークを構成する要素の種類や役割を理解し、それを用いてデジタル作品が制作できる力を育てる。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目（題材、教材）	時数	主な達成目標（各単元でつけてほしい力）	評価方法	評価場面
4 5 6 7 9 10 11 12	生物育成の技術・エネルギー変換に関する技術・情報の技術	エネルギーの利用について	4	・電気エネルギーの変換に関する仕組みを理解し、利用方法を調べる。 ・発電のしくみについて理解する。	授業中の観察 提出物 定期考査 振り返り	授業 班活動 定期考査
		ラディッシュ栽培	1	・植物の生産に必要な知識を理解する。	ワークシート	授業 定期考査
		エネルギー変換を利用した製品の製作	9	・はんだごての使用方法を習得する。 ・ラジオの製作を通してエネルギーの変換に関する仕組みを理解する。 ・電子部品の働きについて理解する。	授業中の観察 提出物 机間巡視 作品の点検 定期考査 振り返り	授業 班活動 発表 定期考査
		電気回路と回路図	3	・電気回路の基本的な構成を理解する。 ・ラジオの回路図の制作をする。	授業中の観察 提出物 定期考査 振り返り	授業 班活動 作業の様子 定期考査
		電気機器の安全な利用について 回路計の使い方	3	・電気機器による事故の防止について確認する。 ・回路計の使い方について確認する。	授業中の観察 提出物 机間巡視 振り返り	授業 班活動 定期考査
		オームの法則について	2	・オームの法則について理解する。 ・合成抵抗について理解する。 ・抵抗値の計算を理解し、確認す	授業中の観察 提出物 作品の点検 定期考査	授業 班活動 定期考査

令和8年度 学習指導計画

中28 練馬区立大泉西中学校

月	単元	小単元・項目（題材、教材）	時数	主な達成目標（各単元でつけてほしい力）	評価方法	評価場面
1		動力伝達のしくみ、運動を変化させるしくみ	2	・動力の伝達や運動の変化のしくみや特徴を知る。 ・身近な機器にも動力伝達のしくみが使われていることを知る	授業中の観察 提出物 定期考査 課題レポート 振り返り	授業 定期考査
2 3		コンピュータの基本的な構成	3	・コンピュータを見て各部の名称、働き、装置の役割について確認をする。 ・コンピュータの基本操作の確認をする。 ・情報モラル（授業の最初で触れる）	授業中の観察 提出物 机間巡視 作品の点検 定期考査	授業 定期考査
		生活や社会を支える生物育成の技術	6	・教科書やプリントを中心として、生物育成の技術と生活との関わりを理解する	授業中の観察 ワークシート 定期考査 休業中の課題 振り返り	授業 定期考査
		ワードプロセッサの使い方 インターネットの使い方 表計算 プレゼンテーション	3	ワードプロセッサの使い方について確認する。 ・インターネットの使い方について確認する。 ・・エクセルやパワーポイントを使い資料の制作をする。	授業中の観察 提出物 机間巡視 作品の点検 定期考査 振り返り	授業 提出物 定期考査
合計時数【35】 ※　生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	作品、提出物の内容、定期考査
思考・判断・表現	作品、提出物の内容、定期考査
主体的に学習に取り組む態度	作品、提出物の内容、授業に対する取組、振返り

令和8年度 学習指導計画

中28 練馬区立大泉西中学校

技術・家庭（家庭分野／第２学年）

【教科目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

【学習計画】

時期	題材	単元	時数	主な達成目標〈時数〉 （各題材で身に着けてほしい力）	評価方法	評価場面
１学期	衣食住の生活（衣生活）	◎適切な衣服選択について考えよう	2	・衣服の保健衛生上の働き、生活活動上の働きについて理解する。 ・衣服の社会生活上の働きを理解し、TPO や自分らしさを大切にした衣服選択について工夫して考える。	・ワークシート ・定期考査	授業 定期考査 提出物
		◎衣服の手入れについて理解し、実践できるようになろう	4	・衣服に関する汚れの種類やそれに応じた適切な手入れの方法について理解する。 ・繊維の特徴を踏まえて、適切な衣服の手入れを理解する。 ・取扱い表示について理解し、衣服や汚れに応じた適切な手入れを実践できるようにする。 ・汚れの落ちる仕組みについて理解し、洗濯について理解を深める。	・ワークシート ・定期考査	
		◎手縫いで生活を豊かにする製作を実践しよう	11	・基礎縫いの方法（半返し縫い、まつり縫い）を理解し、実践的な技能を身につける。 ・衣服の補修に必要なボタン付けの技能を身につける。 ・衣類の補修に必要なスナップボタン付けの技能を身につける。 ・手縫いの作品制作に向けて、生活を豊かにする工夫を考え、計画する。 ＊ティッシュケース製作 ・手縫いの基礎的な技能を活用し、目的に応じて適切な縫い方を使い分けることができる。	・成果物 ・ワークシート ・授業中の取り組み	
３学期	衣食住の生活（住生活）	◎快適な住まいを考えよう	7	・住居の基本的な機能について理解する。 ・住まう人が安全に住むことができる住まいについて理解し、自身ができる工夫について考えを深める。（家庭内事故の予防） ・快適な住まいの環境を作るために必要な要素について理解する。 ・家族の生活と住空間との関わりを理解し、家族全員にとって快適な住まいを作る工夫について考えを深める。	・ワークシート ・小テスト ・定期考査 ・授業中の取り組み	授業 班活動 提出物 被服実習

令和8年度 学習指導計画

中28 練馬区立大泉西中学校

時期	題材	単元	時数	主な達成目標〈時数〉 （各題材で身に着けてほしい力）	評価方法	評価場面
				・防災の観点から、自然災害に対しても安全に住まうことができる住居の工夫について考える。		
	衣食住の生活（衣生活）	◎ミシンを活用できるようになろう	9	・小学校での学習を踏まえ、ミシンの安全な使い方（正しい姿勢、操作）を理解し、身に着ける。	・成果物 ・ワークシート ・定期考査	授業 定期考査提出物
				・ミシンを使った基礎的な縫い方について、技能を身につける。		
				＊ハーフパンツ製作 ・ミシンを使って、自身の生活を豊かにできる製作を実践する。		
		◎持続可能な衣生活を考えよう	4	・持続可能な衣生活を営むために、自分自身の生活を振り返り、課題を見つけ、その改善に向けて生活を工夫する。	・ワークシート	
		合計時数	35			

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価の内容（評価方法）
知識・技能	・題材や授業のめあてに応じて、正しい知識や技術を習得・活用できている（定期考査、実習での作業の様子、作品の完成度） ・安全で丁寧に作業をし、作品や課題の完成に向けて、自分の考えを実現することができている（作品の完成度、ワークシート記入状況）
思考力・判断力・表現力	・提出物（作品やレポート、ワークシートなど）に創意工夫ができている ・被服実習において、生活の中での活用方法を考えた工夫ができている ・授業内での学びを自分の生活に当てはめて考え、自ら生活をよりよくしようとする工夫ができている（ワークシート、発言、発表） ・被服実習において作業を効率よく進めていく工夫ができている
主体的に学習に取り組む態度	・授業での活動や実習に主体的・意欲的に取り組むことができている（発言、発表、実習への取り組み） ・提出物を確実に提出することができている（ワークシート記入状況）

令和8年度 学習指導計画

中28 練馬区立大泉西中学校

技術・家庭（技術分野／第３学年）

【教科目標】

＜材料と加工の技術＞
ものづくりの実習を通して、ものづくりの基礎的な知識と技術を習得し、それらを生活に活用する態度を育てる。
＜生物育成の技術＞
生物育成の技術の基礎的な知識と技術を習得し、それらを生活に活用する力と態度を育てる。
＜情報の技術＞
コンピュータやネットワークを構成する要素の種類や役割を理解し、それを用いてデジタル作品が制作できる力を育てる。また、コンピュータを使い計測・制御が行える力を育てる。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目（題材、教材）	時数	主な達成目標（各単元でつけてほしい力）	評価方法	評価場面
4 5	材料と加工の技術・生物育成の技術・情報の技術	金属材料の特徴や種類	1	・金属の種類や特徴について理解し、どのように使われているかを知る。 ・金属の特性や熱処理について理解する。	授業中の観察 提出物 定期考査 課題レポート 振り返り	授業 教科書の活用 定期考査
6 7 9 10		金属製品の製作 けがき作業 切断 穴あけ やすりがけ 仕上げ 製図	7	・設計図を見て、どのような加工をするか、 ・製図を通して理解する。 ・金属材料はけがをしやすいので安全に十分配慮した作業ができる。 ・各作業で道具の正しい使い方を理解する。 ・安全にけががないように指導する。	授業中の観察 提出物 記録表 定期考査 課題レポート 振り返り	授業 教科書の活用 班活動 作業の様子 教科書の活用 定期考査
11 12		しいたけ栽培	3	・生産する流れを理解する	授業中の観察 ワークシート 定期考査 振り返り	授業 教科書の活用 定期考査
1 2 3		プログラムミングと計測・制御 双方向性のあるコンテンツによる問題解決	7	・基本的なプログラミングを理解する。 ・時計とコンピュータを使いプログラミングし、計測・制御について理解する。	授業中の観察 提出物 振り返り	授業 班活動 作業の様子 教科書の活用 定期考査
合計時数【18】						

※　生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。

令和8年度 学習指導計画

中28 練馬区立大泉西中学校

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	作品、提出物の内容、定期考査
思考・判断・表現	作品、提出物の内容
主体的に学習に取り組む態度	作品、提出物の内容、授業に対する取組、振り返り

令和8年度 学習指導計画

中28 練馬区立大泉西中学校

技術・家庭（家庭分野／第３学年）

【教科目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

【学習計画】

時期	題材	単元	時数	主な達成目標（各題材で身に着けてほしい力）	評価方法	評価場面
１学期	家族・家庭生活	◎幼児に対して理解を深めよう	6	・幼児の体の発達について理解し、自身にできる関わり方の工夫を考える。 ・幼児の心の発達について理解し、自身にできる関わり方の工夫を考える。 ・幼児の発達における「遊び」の重要性について理解し、関わり方の工夫を考える。 ・幼児の生活が安全であることの重要性と自身の関わり方について理解し、考えを深める。 ・幼児の発達に不可欠である「おやつ」の調理を通して、実践的な理解を深める。	・振り返りレポート ・定期考査 ・授業中の様子	授業 定期考査 提出物 調理実習
２学期		◎幼児とのかかわり方を考えよう	7	・幼児との「遊び」で活用できるおもちゃの製作に向けた計画を立てる。 ・幼児との「遊び」で活用できるパペットを製作する。	・成果物 ・ワークシート	授業 提出物 被服実習
	消費・環境	◎自立した消費者を目指そう	4	・金銭の管理において、購入方法や支払い方法の特徴を理解し、計画的な管理の必要性を理解する。 ・現代社会の消費に関する課題を理解し、自身の向き合い方について考えを深める。 ・消費者の基本的な権利と責任を理解し、持続可能な消費行動を工夫する。 ・消費者被害への理解を深め、消費者としての情報モラルを身につける。	・ワークシート ・定期考査	授業 提出物
	共生社会	◎共生社会について考えよう	2	・ユニバーサルデザインについて理解を深め、誰もが暮らしやすい社会を目指した自身の行動の工夫を考える。	・ワークシート ・定期考査	授業 提出物
		合計時数	１８（１７．５）			

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価の内容（評価方法）

令和8年度 学習指導計画

中28 練馬区立大泉西中学校

知識・技能	・3 年間を通じて、よりよい生活を営む上で必要な、正しい知識や技術を習得・活用できている （定期考査（１、２年時の内容も出題）、実習での作業の様子、作品の完成度） ・安全で丁寧に作業をし、作品や課題の完成に向けて、自分の考えを実現することができている（作品の完成度、ワークシート記入状況）
思考力・判断力・表現力	・提出物（作品やレポート、ワークシートなど）に創意工夫ができている ・授業内での学びを自分の生活に当てはめて考え、自ら生活をよりよくしようとする工夫ができている（ワークシート、発言、発表） ・調理実習、被服実習において、作業を効率よく進めていく工夫ができている
主体的に学習に取り組む態度	・授業での活動や実習に主体的・意欲的に取り組むことができている（発言、発表、実習への取り組み） ・提出物を確実に提出することができている（ワークシート記入状況）